



令和2年度 職員等提案制度職員投票 投票結果

職員等提案制度では、平成29年度から優れた業務改善を行った取組に対して表彰しています。被表彰者の選考にあたっては職員投票の形式で皆さんに選考してもらい、その結果、次の2つの取組が選ばれました。

職員投票の投票結果

○投票期間：令和2年7月1日～令和2年7月31日

○表彰ノミネート事例数：9事例

○投票数：1,210票



改善事例

庶務業務におけるメール処理の作業時間削減

改善内容

庁内に照会をかける際に、電子申請システムを利用することで、回答メールの振り分けや文書管理システムでの収受登録作業などが不要となり、庶務担当者の負担軽減に繋がった。



改善事例

研修費等負担金

改善内容

保育コンシェルジュ（公立保育所所長経験者）によるニーズに合わせた研修を開始し、公立・市立の枠を超えた施設長同士の交流を各協会と協働で実施した。これによって共に「越谷の保育」を考える基盤を整備した。

受賞者インタビュー



●情報推進課 職員

メール処理の改善により業務効率化を図る

課に届くメールの処理については、文書管理システムに收受登録・削除することや、必要に応じて担当者に振り分ける（転送する）など作業量が多い。実際に、情報推進課では、全庁に向けた研修の案内（出欠確認）や照会をかけることが多く、回答メールの処理にかなりの時間を割いていた。このような中、照会をかける際に電子申請システムから回答してもらうようにすることで、メールを1件1件開かなくても回答を一括ダウンロードでき、集計作業も一括で行えるなど、業務の効率化に繋がった。

業務改善の動機と効果は？

メール処理にかかる作業を減らしたいと思い、従来からある電子申請システムを活用して、業務改善に取り組みました。当初は、電子申請システムの回答様式作成に時間がかかっていましたが、最近は慣れてきたことと、過去の様式をコピーして再利用することも可能なので、ほとんど時間もかからなくなりました。また、導入当初は、「電子申請システムでの回答方法を教えてほしい」という各課からの問い合わせも多くありましたが、現在は減ってきていて、だいぶ浸透してきたように思います。業務量の削減によって、メール処理業務による負担も減り、他の業務時間の確保に繋がったと感じます。

今後の展開について

課内の職員にも、照会をかける際には電子申請システムを利用してもらうよう呼び掛けています。業務改善には、課内での認識の共有や協力体制がとても重要だと思います。また、電子申請システムについて、使用方法や機能がわからず、使ったことがないという職員も多いと思いますが、うまく活用することで、業務の効率化に繋げることが可能です。情報推進課では、電子申請システム様式作成の相談や支援もしているので、多くの職員に活用してもらい、全庁に広がってほしいなと思います。

●子ども育成課

官民を越えて越谷の保育を考える

子ども育成課では、公立保育所長経験者をコンシェルジュとして配置し、市内の保育所（園）に勤める保育士からの相談に応じているほか、官民協働での研修や交流会を開催し、横の繋がりを構築している。公立と民間の保育所では、職員の異動の有無や年齢層、方針などが異なることから、保育士個人の考え方も様々あるが、官民の垣根を越え、共通する課題について一緒に考えることで、越谷の保育全体のレベルアップを図っている。

研修会開催のきっかけは？

子どもたちには、どの保育施設でも同じ保育を受けてもらいたい、公立、民間の保育所の特徴を活かし、「子育てするなら越谷」を目標により良い保育を目指すという考えから、合同の職員研修会をやろうということになりました。また、保育士全体の意見交換や情報交換の場として活用することで、同じ越谷の保育に携わる者同士、交流を深め仲間がいる安心感を大切にしたいと考えています。

今後の課題や意気込みは？

残念ながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、研修会の実施に至りませんでした。研修資料を各施設に配布し、施設内で自己研鑽に励んでもらうなど、かたちを変えて事業を継続しています。今後も多くの職員に参加していただき、更に横の繋がりを広げていけるよう、事業を続けていきたいと思えます。